

六小・富士便り

開校55周年 国立市立国立第六小学校
校長室便りNo.12 令和7年(2025年)11月25日

11月17日(月) 4年生 デフリンピック観戦

先週の月曜の17日に、デフリンピックが開幕しました。4年生は、開会式のあったこの日に、調布市にある京王アリーナで開催されていましたバトミントンの試合を観戦してきました。

デフリンピックとは、言葉としては、デフオリンピックとなり、
デフ(Deaf)とは、英語で「耳が聞こえない」という意味になります。
また、デフリンピックは、100年近い歴史があり、国際的な「きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック」です。

(下線部分は、一般財団法人全日本ろうあ連盟 スポーツ委員会作成Webページを参照しました。
また、生成AIの文章を基に編集しました)

短い時間ではありましたが、子供たちにとっては、観戦そのものが貴重な機会であると同時に、選手たちが様々な課題をもつ中で競技に出場している姿や対戦を通して、自分らしく懸命に頑張ることの素晴らしさを知る大切な時間となったと思います。また、観戦中に日本選手が登場し、接戦の試合をしている様子を見て、子供たちの応援にも余計に熱がこもりました。

応援の仕方も、今大会で新しく生み出された手話での応援方法を学び、その手話を使って応援を行いました。これから子供たちは、様々な場で、様々な人と多様性の中で生きていくことになります。多くの体験や経験をもち、自分の中に思いや考えをもつことは、未来を生きる力になります。これからも教育活動を通して、多様性の時代に生きるために力を高めていきたいと思います。

11月20日(木) 2年生 くにたち中央図書館見学

とても天気の良い日となった先週の20日の木曜日に、2年生全員で、くにたち中央図書館へ生活科見学で行ってきました。六小サポーターの皆さんのご協力もあり、30分程度の道のりになりましたが、子供たちは、とても頑張って歩くことができました。

中央図書館では、各学級を2グループに分けて、館内の地下や3階、子どもの本のある2階等、図書館での過ごし方に気を付けながら、(図書館を利用している一般の方もいる中でしたが)たくさんの学びをする機会となりました。

国立市にある図書館の数や蔵書数、珍しい本など、自分たちの住む国立市の図書館の様子と使い方も含めた学習をしてきました。子供たちは、それぞれ読みたい本を選んで貸し出しの体験もしました。本を返すところについても、中央図書館以外に返却できることを知りました。また、駅などに設置している本専用の返却用のポストについて学ぶところでは、図書館に本が戻ってこなくなるという理由から、『郵便用のポストに入れない』という話も、よく聞いていました。

学校への帰り道も頑張って歩き、無事に学校に戻ることができました。最後に、私が話をした時も、話す方へ体を向けることや目を合わせること等の姿勢や態度を伝えると、しっかりと行動する



子どもたちが多くいて、2年生として成長していることが良く分かりました。今日のような学習活動を積み重ねながら、2年生で身に付ける力をしっかりと身に付けた3年生になってほしいです。

最後に、ご協力いただいた六小サポーターの皆さんには、これからも、学校と共に子どもたちの成長のために力を貸しいただければと思います。ありがとうございました。

研修や研鑽を通して

教員は、授業や学習活動を通して、子どもたちの生きる力の1つである学力を向上させるために、様々な研修や研鑽の場で、自分の授業力や指導力を高めるように努めています。

私は、道徳の研究員になったことがあります。その後は、道徳の授業力を高めるための研鑽に励みました。また、算数の習熟度別少人数指導の担当を4年間行いましたので、その時には、算数を研鑽しました。その他には、先進的に取り組んでいる学校に研修に出かけて、様々な学ぶ機会を得てきました。私たち教員は、様々な機会を通して、自身の教員力を高めています。

＜本校の校内研究＞

本校でも、校内研究の時間を設定して、授業力や指導力を学ぶ機会を作っていますが、今年度は、生活科・総合的な学習の時間を研究の柱として、これまでに2年生と6年生の2回の研究授業を行い、研鑽してきています。

生活科も総合的な学習の時間も体験や経験がとても大切な学習です。そして、更には、子どもたちの主体性が大きな力となります。

生活科では、低学年の時代に自分の周りにあるものや物事、自分の生活や社会で起こっていることなどへの気付きを育てることが求められることの1つとなります。



生成AIで作成した画像です。

総合的な学習の時間では、中学年から高学年の時代に、低学年の時に培った気付きの力を活用して、疑問に思ったり不思議に感じたりすることなどから、自分の学習の課題を立て、自分の力で調べ、自分で解決をし、その学んだことについて、対象者を意識した情報発信をしていきます。

また、情報発信したことや課題解決のために取り組んだ学習活動から、次の課題を見つけ、更に深掘りしていくというのが、総合的な学習の時間と言えるところです。

今年度は、この先の学習指導要領の改定を見通しながら、生活科・総合的な学習の時間の原点に立ち返り、改めて基礎的・基本的な指導の目的や指導法、評価などを学んでいます。次回の研究授業は、4年生が行う予定です。

この先の本校の生活科・総合的な学習の時間は、本校の敷地内にある矢川を題材に、1年生から6年生までの系統だった学習活動になるよう検討し、研修・研鑽を通して確立していきます。

【校長のつぶやき】

私の音楽との出会いは、以前もお知らせしたとおりに、小学校の

5年生の時に合唱団に入団した時からとなります。その時からずっと、自分の周りから音楽が無いことは、ほとんどありませんでした。中学校では、合唱の他に吹奏楽部やリコーダー部をかけ持ちしたり、高校では、本格的に合唱に打ち込んだり、大学からは、ボイストレーニングのレッスンや独学で指揮法を学んだり、大学のゼミでは、ほんの少しですが、ピアノも学びました。この小学校から大学までの積み重ねが、自分の人生を大きく開くことになりました。

教員になってからも、アマチュアではあります、多くの合唱団の指揮者として、たくさんの演奏会に出演し、多くの方々とも出会いました。私をつくったのは、音楽と言えると思います。